

「正倉院宝物と天平文化」

吉澤 悟 氏 (奈良国立博物館)

「終末期古墳から見た畿内と東国」

右島 和夫 (群馬県立歴史博物館)

10 月 8 日 (土) 13:00～16:00

上野三碑の最初の石碑である山ノ上碑の頃は、実はまだ古墳が造られていました。そして最後の金井沢碑が建てられたころ、華やかな天平の時代がスタートします。

記念すべき開会初日、奈良国立博物館学芸部長の吉澤氏と、当館右島特別館長が、わかりやすく語りつくします。



正倉院宝庫模型
(奈良国立博物館蔵)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：70 名

●参加費：当日の観覧券が必要です。

企画展観覧料（常設展も含む）：一般 800 円

常設展観覧料：一般 300 円

●申込方法：9 月 8 日 (木) より、電話による事前申込が必要です。

027-346-5522 (開館日の 9:30～17:00)

※新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会情勢により、内容を変更・中止する場合があります。

群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1 (群馬の森内)

TEL. 027 (346) 5522

